

(様式第2号)

## SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月31日  
住 所 埼玉県行田市桜町1-5-16  
県内企業等の名称 小川工業株式会社  
代表者役職 氏名 代表取締役 小川 貢三郎

小川工業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

### 記

#### SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

2015年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて、私たちの力を積極的に役立てていくことが求められています。小川工業株式会社は「優れた技術と創造力により、豊かな社会の実現に貢献します」という経営理念のもと、建設会社として、地域の守り手として、豊かな地域社会の実現のために取り組んでいます。SDGsが示す課題の解決を考えることをきっかけとして、お客様をはじめ、従業員、協力会社の皆様、地域の皆様など、沢山の関係者の方々とのパートナーシップを通じて、社会からの期待と要請に応え、持続的な成長に貢献できる建設会社を目指します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境に配慮した企業活動を推進し、顧客及び社会から信頼と高い評価を得られる高品質の建造物とサービスを提供する。 <(現状値)2022年の数値> 二酸化炭素排出量:518.3t	<2030年に向けた指標> 二酸化酸素排出量:10%削減 <3年後に向けた指標> 二酸化酸素排出量:3%削減
社会	「働き方改革」に積極的に取り組むことで、従業員が働きやすい制度・環境をつくり、埼玉県内の建設業界におけるモデルとなる。 <(現状値)2022年の数値> 4週8休制の実施 社内育児休暇制度取得率85.7%(対象者6名/7名)	<2030年に向けた指標> 週休2日制の実施90%以上、社内育児休暇制度取得率100% <3年後に向けた指標> 週休2日制の導入、社内育児休暇制度取得率90%以上
経済	先端技術を施工現場で積極活用することで建設現場における生産性を向上させる。 <(現状値)2022年の数値> 先端技術(ICT、BIM、CIM、ドローンなど)の活用率56.8%(対象現場:25/44)	<2030年に向けた指標> 施工現場における先端技術の活用率100% <3年後に向けた指標> 施工現場における先端技術の活用率80%以上

#### 【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。